



「水溶液の性質をしらべよう」 ~ムラサキキャベツで指示薬~

小学校6年「水溶液の性質をしらべよう」
では、

- ◎においのあるなし
- ◎溶けているものは、気体か、液体か
- ◎リトマス紙の反応は酸性・中性・アルカリ性か

などの視点で、水溶液を分類します。

さて、実験中に「家にあるような身のまわりの水溶液などの性質をもっと詳しく調べてみたいけど、リトマス紙がないから調べることができない」との声を聞くことがあります。そこで、リトマス紙のように、水溶液の性質を調べることができるものとして、ムラサキキャベツを使った指示薬づくりを紹介します。

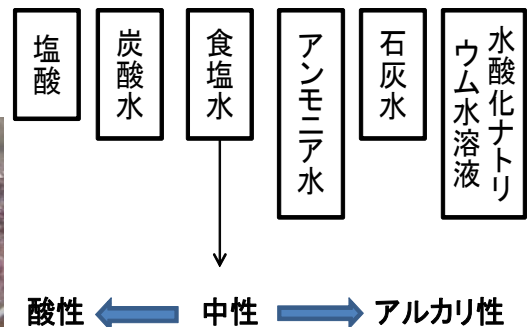
【手順】

- (1)ムラサキキャベツを細かく刻む（包丁は気をつけて使うこと）。
- (2)ひたひたの水で煮る。
- (3)こして、きざんだ葉と抽出液に分けて、できあがり。

※腐りやすいので、1～2日で使い切りましょう。

上のような手順のほか、ビニル袋に水と少しの食塩（中性）を入れて、もんでも色素が抽出できます。

ムラサキキャベツ指示薬の色の変化



（文責：玉村かおり）

ムラサキキャベツ色素の抽出液